リーダーたちの本棚 VOL.57
Leader as Readers

企画・制作 朝日新聞社広告局 広告特集

L【率いる】Leading
課題解決力を養う 体験型学習を拡充

成蹊大学を卒業してつくば市の研究所で交通騒音などの研究に取り組んだ後、母校の教員に就任した。

「3人の兄は小学校から成蹊に通っていましたが、私は病弱だったこともあって家から近い小学校に通っていました。兄たちを見て成蹊にあこがれて中学から受験して入り、大学院卒業までの 15 年間を過ごしました。中村春二先生の建学の精神に基づく学びの環境はすばらしく、健康な体で勉強できることが楽しくて仕方がありませんでした。その喜びを後輩に伝えたいと、教育者の道に進みました」

成蹊学園は、小学校から大学・大学院までが一つのキャンパス内にある。小学生の教育を大学生が補佐するなど、縦の交流も活発で、「卒業後も人脈は生き続ける。そこが特徴で強み」と、自らの経験をもとに橋本さんは語る。

学園創立者の中村春二氏は、人間育成と人格養成を教育の根幹に据え、「個性の尊重」「品性の陶冶(とうや)」「勤労の実践」という三つの理念を提唱した。橋本さんは、この理念を礎に、学生たちの資質を伸ばす教育を目指している。

「一人ひとりの個性を認め、型にはめず、能力を刺激し、フロンティアスピリットを持った人材を育てていきたい。学生にはしっかり力をつけて卒業してほしかったので、時には厳しく指導しました。今は学園長として、教員たちのモチベーションを高めることが重要だと考えています。いい意味での競争原理を持ち込むことで、教員同士が前向きに切磋琢磨(せっさたくま)できる環境づくりを進めていきます」

産学連携や留学の機会をより多く

成蹊学園では、本年度から6年間を達成期間とする中期重点目標を策定し、目標達成のための四つのテーマとして、「グローバル化の推進」「教育・研究の質の向上」「組織・経営基盤の強化」「産業界・地域との連携」を掲げている。

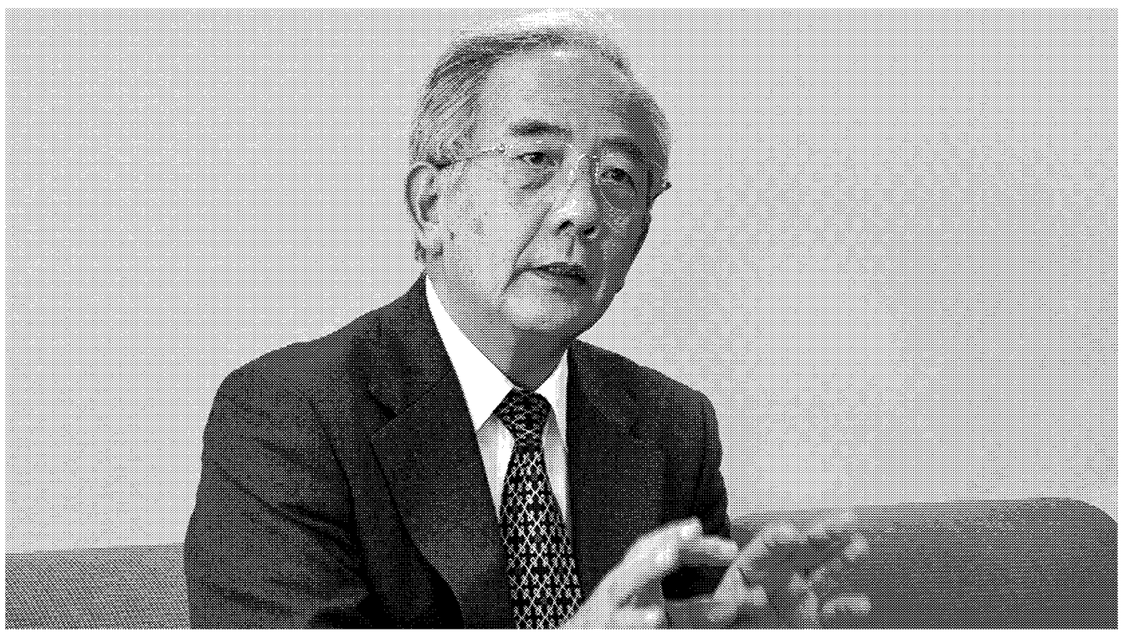
「グローバル社会では、自分で課題を発見し、他者と協働して解決に導くリーダーシップが求められます。そのためには、確かな基礎学力と教養、自分の意見を人に伝えられる情報発信力がなければいけません。そうした人材を育成するため、インターンシップ、留学、ボランティアなど、課題解決を実践する体験型学習の拡充を図っています」

たとえば、企業が抱える課題を学生たちで議論し、解決策を提案するプロジェクト型授業は、課題提供企業からも大いに歓迎されている。「先日、学生たちの発表会を見ましたが、なかなかのものだと思いました」と目を細める。

グローバル化の推進においては、世界 21 大学と協定を結び、留学生を派遣。来年度は1年生を 100 人規模でオーストラリアの大学に短期留学生として派遣する計画だ。

「少子化が進む中、競争力に欠ける教育機関は、生き残っていけません。常に学生目線を意識し、掲げた目標をブレることなく貫くことが私の務めだと思っています」

web 広告日報
■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、橋本竹夫さんが語るリーダー論を紹介しています。
http://adv.asahi.com
朝日新聞 広告 検索



成蹊学園 学園長
橋本竹夫(はしもと たけお)さん

成蹊中学・高校、成蹊大学工学部を経て同大学院工学研究科博士課程単位取得退学(工学博士)。日本自動車研究所研究員を経て1979年から成蹊大学工学部教員。2007年同大学名誉教授。13年4月から現職。

R【読む】Reading
本に学ぶ、人材育成のあり方

「昨今はインターネットを通じて様々な情報を入手できますが、学生たちには、物事を深く理解するために本を読んでほしい、研究書などには参考文献が記載されているので、それらも手に取って知識を広げてほしいと教えています」と、橋本竹夫さん。昨年創立100周年を迎えた成蹊学園のグローバル時代に向けた改革に取り組んでいる。

病弱だった子供時代 本は心の滋養だった

読書は、幼少の頃から生活の一部です。私は小学校3年生の時に腎臓病を患い、3年ほど学校に行けず、自宅で絶対安静を余儀なくされました。窓の外から同年代の子たちの笑い声が聞こえるけれど、姿は見えない。そんな暮らしの中で、唯一の楽しみが読書でした。本は、自分の思うままに想像の世界を広げることができます。それはテレビや映画では味わえない、何にも代えがたい魅力です。

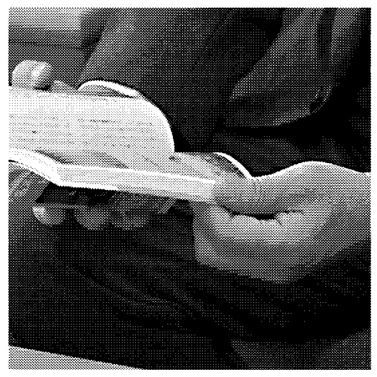
現在は、医者に頼らない生活を通しています。それでもいいのだと思えた本が、『医者に殺されない47の心得 医療と薬を遠ざけて、元気に、長生きする方法』です。日本では、高齢者の医療費が増え続けています。本書は、高血圧や高コレステロールなど、加齢とともに出てくる症状には意味があり、不用意に薬で抑えてはいけないと警告します。賛否両論あるとは思いますが、私は支持します。自分にとっていちばんの健康法は、仕事でも何でも楽しむこと。のんびり絵を描いたり、学生時代にバンドを組んでいたころを思い出してギターを演奏したりと、趣味に興じる時間も大切にしています。

『EDO−100フカヨミ! 広重「名所江戸百景」』は、出版関係者を中心とする「出版桃李(とうり)会」という当学園の卒業生の集いで知りました。各自一冊の本を持ち寄って交換するのが恒例で、前回は小学館の相賀昌宏社長が持参されたこの本が私に当たり、読んだら実に面白かった。幕末の江戸では、天災や疫病に見舞われた庶民の不満が増大し、体制批判を恐れた幕府がメディア規制を強めたため、浮世絵師たちは描きたいことを暗号化して表現したそうです。本書は、そうした背景をふまえて歌川広重の『名所江戸百景』に隠されたメッセージを解き明かしていきます。初版で描かれていた幕府の施設が増し刷りではぼかしてある作品や、著者が「広重ピンク」と呼び、梅の香りを表現したのではないかと推測される作品など、多くの新鮮な発見がありました。視覚的にも楽しめる一冊です。

自立した個性こそ グローバルに活躍できる

『フェリックス・ロハティン自伝 ニューヨーク財政危機を救った投資銀行家』は、当学園理事で、大正製薬の会長の上原明さんに勧めていただいた本です。ユダヤ人のロハティンは、12歳の時に母親とナチス占領下のフランスを脱出し、渡米します。運に導かれたその脱出劇に、まず引き込まれました。戦後、彼は米国の大学に進んだものの、成績はふるわず、パリで醸造所を営む父親のもとでしばし働きます。しかし職場環境になじめず、大学に戻って学位を取りました。その後の彼の人生を思えば賢明な選択で、教育者として励まされる内容でした。大学を卒業したロハティンは、投資銀行に入って苦労しながら企業買収のキャリアを重ねます。ニューヨーク市の財政再建に貢献し、70歳を過ぎて駐仏米国大使を務めるなど、公的な働きもしました。競争社会において自立した人間であることの意味を問いかける内容で、若い人が読むと刺激になると思います。

次は、『学歴革命 国際教養大学の挑戦』です。少子化が進む現在、全国に770校を超える大学の入学定員の総数は、入学志願者数を超えています。本書の著者の中嶋嶺雄さんは、2004年に秋田に開学した国際教養大学の学長に就任し、10年を待たず日本の大学のトップクラスに高め、競争力のある大学に成長させました。そのリーダーシップは本当にすばらしいと思います。残念ながら今年他界されましたが、本書にある数々の取り組みは、大学運営の手本として生き続けるでしょう。大学は教授の研究機関ではなく、グローバル社会に柔軟に対応できる人材を育てる場である、という徹底した学生本位の視点に強く共感しました。



最後は、『これからのビジネスリーダーに贈る45の視点 世界で通用する日本人であるために』です。海外でのビジネス経験が豊富な著者が、日本人の欠点として、あいまいさ、意思決定の遅さ、個人としてのつきあいにくさなどを指摘。メッセージを明確に発信すること、肩書でなく一人の個性ある人間として評価されること、自国の文化を大事にしつつ異国の文化を尊重することなど、世界で通用するために重要なことを提言します。成蹊学園を創立した中村春二先生の教育理念にも通じる内容だと感じました。

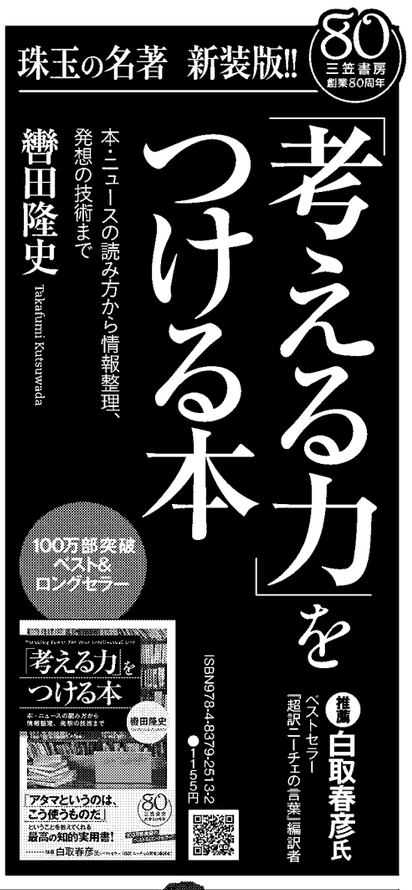
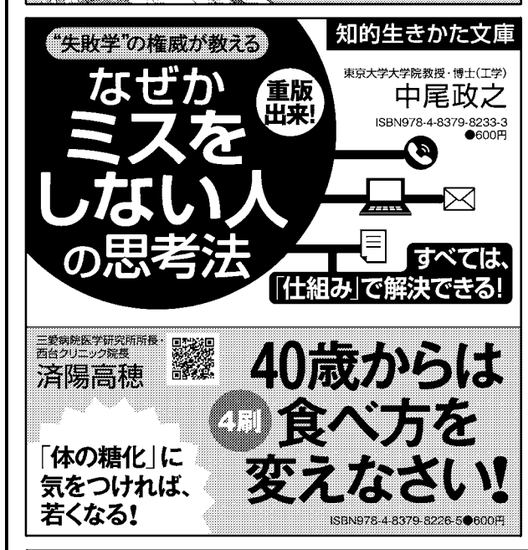
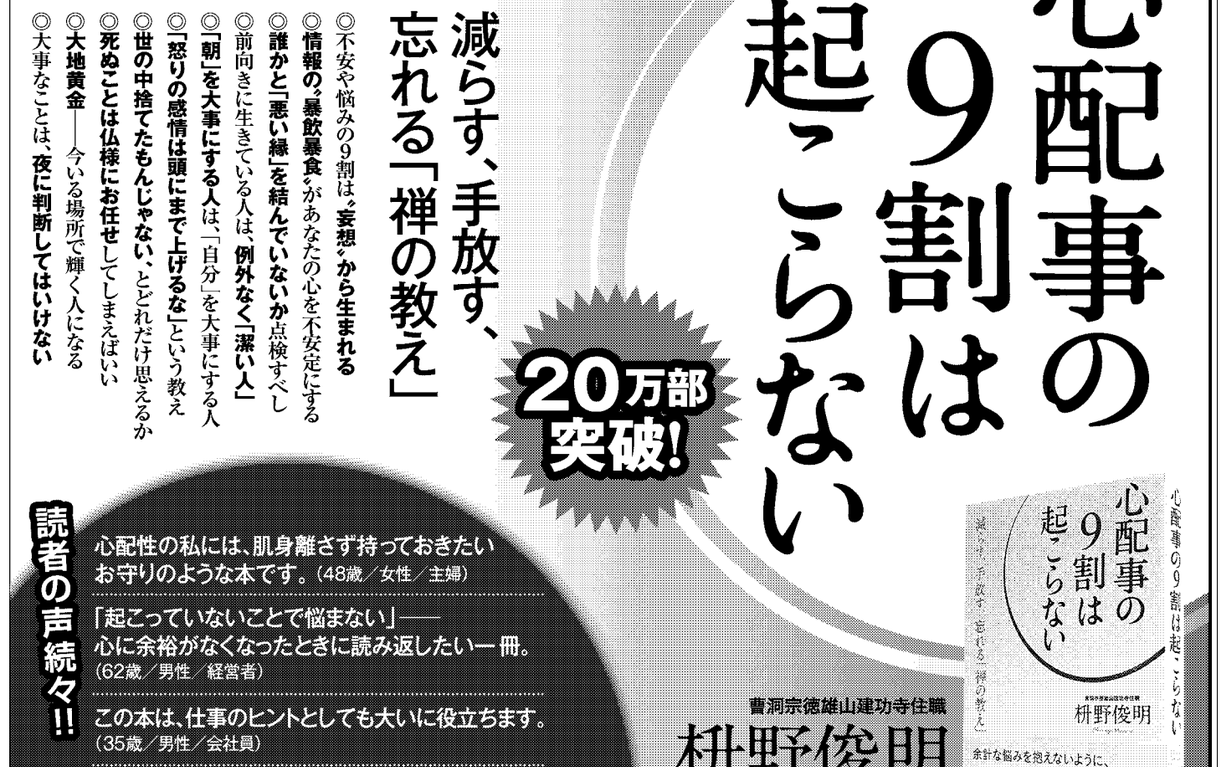
橋本竹夫さんのおすすめ本棚

『医者に殺されない 47の心得 医療と薬を遠ざけて、元気に、長生きする方法』
(アスコム) 近藤誠・著
がんの放射線治療を専門とし、乳房温存療法のパイオニアである著者が、信用してはいけない医者の傾向や、検診、治療、薬の服用などへの誤解を指摘する。

『EDO-100 フカヨミ! 広重「名所江戸百景」』(小学館) 堀口茉純・著
お江戸のアイドル「お江戸ル・ほーりー」こと堀口茉純氏が、歌川広重の名作シリーズに隠されたメッセージを読み解く。イラストを交えたコラムも満載。

『フェリックス・ロハティン自伝 ニューヨーク財政危機を救った投資銀行家』
(鹿島出版会) フェリックス・ロハティン・著 渡邉泰彦・訳
アメリカ金融界で活躍した著者の自伝。エディット・ピアフ、フランク・シナトラ、ニクソン大統領、ロス・ペローなど時代の寵児(ちょうじ)との意外な交流もつづる。

『学歴革命 国際教養大学の挑戦』
(KKベストセラーズ) 中嶋嶺雄・著
毎年就職率ほぼ100%の実績をあげる秋田の国際教養大学の画期的な取り組みを紹介。総勢185人を超える学生への取材や授業の様子も克明にリポート。

『これからのビジネスリーダーに贈る45の視点 世界で通用する日本人であるために』(同文舘出版) 安田信・著
40年以上多国籍企業で活躍してきた著者が、リーダーシップ、役職の捉え方、伝える力、自信の持ち方など、国際社会において必要な個人のスキルを解説。

三笠書房 千代田区飯田橋3-3-1
http://www.mikasashobo.co.jp
◎(株)ブックライナー(フリーダイヤル)0120-398899(9:30〜19:00)からもご購入いただけます。
◎書籍の詳しい内容は弊社HPをご覧ください。◎価格はすべて税込み。
電子版は 三笠書房 BOOKSTORE www.mikasabooks.jp で購入できます。